

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野巨寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

平成24年度第2回理事会開催される

理事会概要

- ・日時 平成25年1月26日(土) 正午～1時10分
- ・場所 新潟市万代市民会館307
- ・出席者 33名

去る1月7日にお亡くなりになられた外山禎一氏のご冥福をお祈りし黙禱。

1. 会長挨拶

新年早々、白山で遭難事故があったが、越後の山は、ヒマラヤ以上といわれている。安全登山に心がけていただきたい。中国青海省登山成功を始め、各委員会の活発な動きに感謝している。今年もよろしく願っていたい。

2. 議題

(1) 役員改選について

阿部会長から、「平成25年3月で現役員の任期が切れるが、北信越国体の運営や継続してやるべき課題もあり、次期も会長、理事長、事務局長は、現体制で引き続き執行して行きたい。各委員長も再任と考えていたが、本間自然保護委員長から今回で職を辞したいとの申し出があり、10年の長きに亘りその職を全うしていただいたので、後任を選考中である。又、理事については、地区別のアンバランス、同一の加盟団体から複数出ている等の意見があるので、見直していきたい」と意思表示がなされた。また、片桐副会長からは、自身と桜井理事は、今限りで退任したいとの発言あり。浅野会報編集委員長からも退任したい、副委員長を軸として委員会内で後任を選任中、次回理事会までに決めたいと発言あり。

阿部会長が引き続きその職を行う中で、副会長、各委員長、理事については、皆さんの意向を酌んだうえで、次回理事会に提案することが承認された。

(2) 平成25年度の事業計画の骨子について

阿部会長から、「新規加盟団体の発掘や若人の参加等の問題やら、日山協の公益法人化に伴い、当協会も我々だけの事業から、山岳会の持つ役割発揮の場として、学校教育の中に山岳会の関わりを夫々の地域で積極的に求めて行ってもらいたいし、昨年自然保護委員会が一般にも開放して講習会を行ったような動きをもっともっと求めて行きたい。その取り組みは、息の長い取り組みや粘り強い行動が必要と思うが、その元年としたい。各委員会においても会員外の参加を含めた事業を積極邸に進めていただきたい」と表明があった。

永田理事から、「ゆきみ山の会では、2年続けて、青山小学校、関屋小学校からの依頼を受けて、登山の引率、付添を実施、生徒からも喜ばれている。学校側からは多くの人達の協力を求められているので、今後、協会からの応援を求めたい。」と、

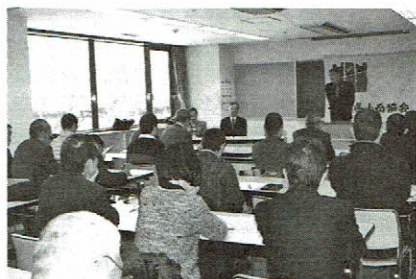
阿部会長から、「新潟山岳会では、1月5～6日米山登山をしたが、能生水産高校の先生、生徒と山頂小屋で同宿し、生徒たちと交流した。学校の中だけでは経験できない交流がなされ、生徒たちにも有意義ではなかったかと思う」と、

小林理事から「新潟峯友会は、桜ヶ丘小、亀田東小の生徒を魚止の滝までの沢登りに毎年連れて行っている」とそれぞれ事例の紹介あり。

これらの事例も参考にしながら、会長方針に沿って、各委員会では今後の事業を実施して行くことが承認された。

(3) 監事の選任について

「1月7日に外山禎一監事が逝去されたため、監事が1名欠員となった。期末には、各委員会、協会の監査があり、故外山氏の後任の補充を行いたい。監事の選任は、規約では評議員会の議決事項となっている。ついては、4月の評議員会で、追認を得ることで、この理事会において後任を決定したい」と遠藤理事長から説明があり承認された。阿部会長から七澤恭四郎氏(参与、高田ハイキングクラブ)が推薦され、承認された。



第2回理事会にて

(4) 理事日当について

阿部会長から「現在、理事に一律手当が出ているが、協会行事に合わせ理事会を開催している現状や今後も協会行事に合わせ開催しようと思っているので、新年度から開催地との距離に関係なく一律支給の手当を廃止して、ほかの協会行事の旅費等に充てたい」と提案があった。

井村事務局長「開催する場所によっては、交通費の負担が多くなる方もおられるので、廃止はいかがなものか」

遠藤顧問「日山協の公益法人化に伴う当協会の事業検討等を勘案すると理事会での意思決定のため、これからは理事会の回数が増加するのではないかと。何時も無手当でよいのか。開催回数の検討と理事手当は連動して判断すべきではないか。他県岳連では毎月理事会を開催している。当協会でも最低でも年4回位は開催すべき」

井村事務局長「今回の理事会を例にとれば5万円位支出される。開催場所の近くの理事は無手当でもやむを得ないが、開催場所と離れた理事には手当支給をしてもよいのではないかと」

遠藤顧問「同感である。開催回数が増えれば理事の負担が増す、回数にあった手当を支給すべき」との意見があった。

今回の意見を踏まえて、また、ほかにも意見を聞いて、次回理事会に再提案することに決定した。

(5) 関係団体の諸行事出席時の対応について

会長から「近年、加盟団体の周年行事が多くなってきている。それに伴い協会への出席要請があり、目安をつくって対応すべきと考えるのがいかか」と発議あり。

森副会長「協会として出席する行事については、せめて旅費実費位は支給をすべきではないか」

片桐副会長「加盟団体の中には、会長以外の役員を招く例もあり、会長だけ支給するのはいかがかと思う。また、以前の会長はかなり自己負担をしていたようだ。もう少し時間をかけて、検討したらどうか」

井村事務局長「現在、協会が負担しているのは、県体協の新年会の会費の1/2を負担しているだけである。後は、一切負担していない」

高橋参与「事務局がたたき台を作成し、検討のうえ、具体的にはっきりさせた方が今後の為にも良いと思う」

井村事務局長「今年度収支からは、繰越金を除くと収支トントンである。余力がない」

今回の意見を踏まえて、また収入も勘案した中で、次回理事会に再提案することに決定した。

2. 報告事項

・総務委員会

10月27～28日親睦登山を開催。講演会参加30名、米山登山15名。

新年会参加者は66名であるが、この交通事情で若干減となる見込み。

賛助会員は現在31名の方から賛同いただいている。

・指導技術委員会

指導員（アルパインクライミング）養成講習会は、受講者13名で実施。

受講者全員合格としたい。日体協への申請には、理事会の承認必要、審議願いたい。

委員会を2月3日新潟市東プラザにて開催。関係者の出席を望む。

冬山講習会を2月23～24日上越地域にて開催。多数の参加を望む。

来年度の指導員養成講習会は、希望が無いので、実施しない。

指導員養成講座受講者について日体協への申請可否を問うたところ、

佐久間理事から「当下越山岳会の受講者のうち1名は事故から、取り下げたい」との申し出あり。

高橋参与「指導員養成講座受講者の今回の受講者名簿を見て感じたが、指導員に足る知識、技術、経験をもつ人が受講すべきである。講習を受けたから即指導員資格付与はおかしい。各加盟団体から指導者にふさわしい人を推薦させて、その人たちを対象として実施すべきではないか。」との意見。

嶋原委員長「今回の講習会は、当初申し込みが少なく、会長を中心として受講者を集めた感はあるが否めない。

今回の受講者は検定基準に照らし特に問題はない。各山岳会の会長の承認を得るべきであったが日山協の申込書に倣って申込書を作成したが、各山岳会会長の承認は特段必要がないと考え、受講させた。今後は各山岳会の承認得ようしたい」と回答。

高橋参与「受講者全員に指導員の資格を与えるのか。指導員資格を与えるにふさわしいか疑問が残る。対外的にも問題がある」との意見。

小林副会長「日体協の指導員の資格について、もう一度そのあり方を我々として整理すべきある。また、受講者は既に費用負担をしていることも考えてやらなければならないのではないかと」の意見。

今回の受講者については、受講者の各所属山岳会の会長から、指導員に足るとの推薦を受けた者を申請することとした。今後は、各山岳会の推薦を受けた者を対象として講習を行うこととする。

3. その他

片桐副会長から、「新山協ニュース」に広告を掲載しているユニオン航空サービスが事業を停止した」との情報。事務局からは前年度分からの広告料が未納となっていると報告あり。

ここで会場の使用期限の時刻となり、他委員会の報告は配付の資料をもって報告に替えた。

なおこの後、新年会会場の第1ホテルに移り、関川村山の会の平田会長から昨年横山征平氏の不慮の事故に関してと下越山岳会の佐久間会長から会員の白山においての遭難事故について、説明がなされた。

以上
文責：理事長 遠藤俊一

岳友 外山禎一さんを偲んで

山友会 '99 佐藤 芳英

前略 外山さん如何お過ごしですか！ そちらでの暮らしには慣れましたか。1月8日、外山さんの突然の訃報に接し驚くとともに確認しなければと、外山さんの事務所へ駆けつけました。そこで、ご子息の量一さんから話を聞き、間違いであって欲しいとの思いが吹き飛ぶとともに現実であると確認させられるだけでした。この日は我々の山友会 '99の新年会が開かれ、新しい年が始まる日でした。誠に残念です。ところで、私が外山さんに初めて会ったのは確か、今から約40年前の昭和46年4月8日だったと思います。この日は、私が加茂山岳会に入会するため、例会に初めて顔を出した日で、集まっていた数名の会員から自己紹介を受けました。その内の一人として外山さんがいました。また、翌5月の連休、山岳会で行った鳥海山でも一緒だったと思います。これが外山さんと付かずかず離れずの始まりだったようです。その後、会の行事である粟ヶ岳、山開き以外で一緒に山へ行く機会もありませんでした。それにしても外山さんと山行を共にする様になったのは、何時からだったのでしょうか。山行記録を調べればと思うのですが、外山さんもご存知の通り、実家が隣家の火災で類焼し、預けて置いた記録帳等が消失したため確認のしようが無いのです。ただ、記憶にあるのは、2人で行った3月の奥秩父の雲取山から笠取山への縦走。5月のハヶ岳、硫黄岳から編笠山への縦走など、越後の山と違う趣を味わったこと、また、甲武信ヶ岳から金峰山へと縦走し、明日は瑞牆山へと言いながら翌日、天気が少し悪くなったので登らなかつたり、槍ヶ岳の頂上を目の前にし、暑くてガマン出来んと言って、西鎌尾根の千丈沢乗越から下山したことなどが、ついこの間のことの様に懐かしく思い出されます。その後、外山さんは会長まで務めた加茂山岳会を突然退会しました。当時私は、何があったのだろうと不思議に思っただけでした。それから外山さんは、4人の仲間と新たに山友会 '99を創り、会長として会の発展に努めてきました。これに対して敬意を表したいと思います。ご苦労様でした。まだ多くの事を述べたいのですが、この次にしたいと思います。楽しみにして待っていて下さい。最後になりましたが、外山さんのご冥福をお祈りして、筆をおきます。

早々

平成25年2月



ありし日の外山さん

Always Security OK

ALSO

新潟総合警備保障株

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20

TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445

魚沼の酒
八海山

www.hakkaisan.co.jp

八海醸造株式会社 新潟県南魚沼市長森1051番地 お客様相談室 025-775-3866

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

ICI 石井スポーツ
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー

Mountain & Outdoor
Parr Mark

パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

飯豊本山冬合宿

新潟山岳会 渡辺 康博

2012年12月29日～2013年1月2日

フルメンバー 白倉穂高 渡辺康博(記録)
 先発メンバー (29日～31日) 西口達也、大平美紀、姉崎由美子、武藤隆介
 後発メンバー (30日～31日) 山崎
 サポート 林道送迎 桜澤 明、横堀、西口夫婦

【行程】

29日 会長宅4:30S～飯豊の湯6:15/45～川入り7:10～御沢8:20/45～三国小屋16:30
 30日 三国小屋7:30～切合小屋9:30～三国小屋12:30
 31日 三国小屋8:00～切合小屋10:00
 1日 切合小屋7:00～草履塚8:00～本山9:50～切合小屋11:50/12:50～三国小屋15:00
 2日 三国小屋7:00～川入り12:00

我ら新潟山岳会は、毎年西俣峰から稜線を狙っていたが、今回の冬合宿は川入りから飯豊本山。秋の間から、三国小屋や登山キャンプ場に食料や燃料をデポして準備していた。

29日 問題は「いいでの湯」から川入りまでの永遠10キロ以上の林道に車が入るかどうかだ。ラッキーな事に「いいでの湯」から川入まで除雪されていて車が入った。入山サポートの桜澤号で2往復してもらい、大変、大変助かった。キャンプ場でデポを回収し、松ノ木尾根の取りつきに入る。沢を渡り、松ノ木尾根をひたすら登る。天気は良い。人数は6人いる。ラッセルは人数だ。だがなかなかつらい、つらい、つらいから写真を撮っている余裕もない。夕方、ヘッドギリギリで三国小屋に到着した。その夜はもちろん小屋にたんまりデポしていたご馳走とアルコールで盛り上がった。

30日 本日の目標は全員で行ける所まで行ってみよう。偵察&ルート作。アイゼンを履いてその上にワカンを履く。アイゼン&ワカンで向かう。これはバッチリ。いいアイデムだ。昨日の天気は嘘のよう。すぐホワイトアウトになった。GPSとコンパスで慎重にルートを伸ばし切合小屋に到着。三国小屋～切合小屋は2時間ほどだったろうか。ホワイトアウトでこれ以上は難しい。本日は全員で三国小屋に戻り、明日、白倉&渡辺は切合小屋にベースを上げようとした。三国小屋に到着すると、「いやー高速道路ラッセルありがとう」と小国山岳会の4名が既に到着していた。小国山岳会とは常日頃仲良くしている。もちろん、この夜は新潟山岳会&小国山岳会の忘年会。盛り上がった。

31日 先発チームは下山して行った。小国山岳会の4名は偵察に向かった。白倉&渡辺は小国山岳会のトレースをたどって切合小屋に向かう。天気は最悪。先行のトレースは10分で吹き飛んでしまう。切合小屋に到着すると、小国山岳会のみならず草履塚まで偵察を伸ばしてくれた。結果、このペナントがアタック当日たいへんに心強いものになった。さて、我ら2人、時間があり過ぎる。切合小屋にテントフライを張って、オッサン二人。今年も白倉&渡辺(HODAKA&YASU)二人での年越し。毎年毎年飽きもせずオッサン二人の年越し。外は猛吹雪の音がする。明日の天気は? 降雪は? いろいろ不安ばかりが頭をよぎる。まあ、毎年の西俣尾根での雪洞や、テントでの夜中じゅうの除雪もないし、雪が溶けてびしょ濡れの冷たさがないだけでも快適だ。焼酎を飲めながら、とにかく身体を休めてアタックに備えた。

1日 天気は良くない。が、飯豊としては悪くない。という感じ。一晩で50センチは積もった。うん。ウダウダ考えても仕方ないから、お互いに肅々とアタック準備を進めた。夜明けとともにラッセル開始。ホワイトアウトでルートは分からないが、小国山岳会のペナントが有り難かった。草履塚まではとにかくラッセル、膝上ラッセルが続く。体力勝負だ。なんとか草履塚に到着すると、雪は少なくなる。雪が吹き飛んで積もらないのだ。なんとなしに夏道すら分かる。御秘所での岩と雪のミックスは慎重に進みたい。その後は本山小屋まで、ガシガシと登るだけだ。疲れた、疲れたがなんとか本山小屋に到着。本山小屋の入口は雪に埋まっていて、ここを使うには相当努力を要するだろう。飯豊神社で初詣だ。「みんなみんなが幸せでありますように」。さあ飯豊本山を落としてしまおう。が、この飯豊本山小屋から本山までの稜線がものすごい雪で、腰上までのラッセル。僕は早々にダウン。穂高



切合小屋が間近だ!

ラッセルには頭が下がります。やっとの思いで飯豊本山登頂! やったね! 無線を出すと、新潟市の阿部会長と交信できた。が、まだまだ、勝負はこれから。ちゃんと三国小屋に帰らなくてはならない。ぐんぐん下ると御前坂あたりで、小国山岳会の4名とスライド。お互いに協力しながら、いい距離感のいい登山ができています。切合小屋でお昼を食べて三国小屋に向かう。雪が深い。小国山岳会のラッセル跡があれば嬉しいのだが、全て吹き飛んでいる。ラッセルラッセルでへとへとで三国小屋に到着した。火をつけて温まっていると、すぐに小国の4人も三国小屋に到着。小国のみんな尋常でない早さだ。なにはともあれ飯豊本山に登れた。みんなみんなのおかげだ。もちろん、その夜は新潟山岳会&小国山岳会の新年会。盛り上がった。

2日 下山。この日は小国山岳会のみみんなに助けられた。僕らはスノーシューに慣れなくて、ワカン。が、小国のみんなはスノーシューでガンガン下りる。ラッセル

をいただき、ついで下山した。もし、僕ら二人だったら、もう一泊雪中ビバークになったかもしれない。松ノ木尾根を下りきるとタカツコ沢を慎重に超える。そこでデポしていたスノーシューに履き換えて、ひたすら帰る。さて、問題は下山後の林道10キロだ。雪はそうとう積もった。歩きは覚悟していた。しかたない、川入から林道をラッセルする。すると、向こうから雪煙りを上げた物体が迫ってくる。?? まさか? 嘘!? そう、そのまさかの西口号。ジムニーが積雪をかきわけて迎えて来てくれたのだ。これはもう感激感激。助かった。いいでの湯まで送ってもらって、5日ぶりの風呂。身体の芯まで温まった。小国のみんなも西口号で送迎し、助け助けてホントにいい山行だった。

海外・国内旅行、主催・手配



長岡営業所
〒940-0084 長岡市幸町1丁目3番5号
☎ (0258)33-7123

新潟営業所
〒950-0918 新潟市水山3丁目2番11号
☎ (025)246-2266

ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第552号・JATA代理店(株) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号
<http://www.uks.co.jp>